

土地の利用区分ごとの目標値について

1 目標値

新潟県が作成した「国土利用計画（市町村計画）策定のおてびき」を参考に、過去10年間の面積の推移や他用途への転換の動向等を踏まえ、利用区分ごとに、目標年次（平成37年）において必要な面積を推計した数値。

なお、数値については、今後の経済情勢の不確定さ等を考慮し、弾力的に運用すべきものとされている。

2 目標値の設定における基本的な条件

- ・ 基準年次
平成26年（最新データ）
- ・ 目標年次
平成37年（第五次国土利用計画（全国計画）の目標年次）
- ・ 平成17年面積、平成26年面積
新潟県が毎年度実施している土地利用現況調査の面積（国土利用計画（全国計画、新潟県計画）で使用している面積）
- ・ 平成37年目標値
下記3で推計した面積

3 平成37年目標値の推計方法

「国土利用計画（市町村計画）策定のおてびき」を参考に、次のとおり推計する。

- ① 平成17年から平成26年までの10年間における利用区分ごとの面積の変動推移、他用途への転換の状況などを分析する。
- ② 減少する人口や世帯数の動向を踏まえつつ、現在計画中の道路等インフラ整備の見込みや農地転用等の状況、産業分野での政策的な工業団地誘致等を考慮して推計する。